

大学入学共通テスト

コロナ禍前からドタバタ続きの大学入試改革、受験を考えている3年生は「困ったもんだ…」に尽きるのではないだろうか。

メディアもいろいろな情報を流していますが、『サンデー毎日』7月26日号には「コロナショック入試最前線」、「共通テストは第1日程に受験集中」と題した記事がありました。それによると、駿台教育研究所進学情報事業部長の石原賢一氏、代々木ゼミナール教育総合研究所主管研究員の坂口幸世氏共に「第1日程に集中する」とみています。第2日程を受験しては、私大入試のスケジュールにシワ寄せがきてしまうことが理由です。本校でも共通テスト受

2021年度大学入試の主な日程

2020年	
9月15日	総合型選抜(旧AO入試)の出願開始
28日~10月8日	大学入学共通テストの出願期間
11月1日	学校推薦型選抜(旧推薦入試)の出願開始
2021年	
1月16、17日	共通テストの第1日程
30、31日	共通テストの第2日程
2月1日	私立大一般選抜がスタート
8日~	私立大への共通テストの成績提供
13、14日	共通テスト第2日程の特例追試
25日~	国公立大2次試験の前期日程
3月8日~	公立大2次試験の中期日程
12日~	国公立大2次試験の後期日程

『サンデー毎日』7月26日号より

験予定者にアンケートをとったところ、やはり第1日程を希望している生徒が大半でした。

また、坂口氏は「21年度入試は受験の基本原則が崩れるのではないかと危惧していました。センター試験は同一問題、同一時刻で全国一斉に行われたことよって平等性が担保されてきた。」

「公平性」を問題視して頓挫させた、英語民間試験導入や国語と数学の記述式問題導入は何だったのでしょうか。いずれにしても入試が始動します。勉強、手続き、すべてきちんと準備をしておきましょう。

自分の力を出す力

本番に強い人と弱い人、あなたはどちらですか。本番に強い人とは、大事な場面で自分の力を出し切れる人だと思えます。俗に言う「稽古場横綱」は、せつかく力はあつても残念な結果になりがちです。

では、本番に強い人と弱い人の違い、それはどういうところから生じるのでしょうか。一つの要因では決められないことですが、長年教員をしていて明らかかな相関関係を実感しています。それは、日々の行動と本番での力の相関関係です。つまり、日々の行動と自分の力を出す力はかなり強い相関関係がおそらくあるということです。日常生活で小さなことを

いい加減にしない人は、自分の力を出す力が高い傾向にあります。高校生であれば挨拶(当然授業の挨拶、お辞儀も含みます)に始まり、時間(勿論提出物の期限も入ります)を守る、心を込めて掃除ができる等々を日々実行している生徒です。これも一つの能力です。誰かが見ているとか評価されるとかは関係ありません。自分を律して行い続けている生徒です。

イエローハットの創業者である鍵山秀三郎氏は『ひとつ拾えば、ひとつだけきれいになる』の冒頭で、凡事徹底について書いています。

・誰にでもできる平凡なことを、誰にもできないくらい徹底して続けてきた、ということに尽きます。
・世の中のことは、平凡の積み重ねが非凡を招くようになっています。

・誰にでもできる平凡なことを少しずつでも積み重ねていけば、とてつもなく大きな力になることを知るべきです。

また、今月16日、高校生棋士藤井聡太さんが見事棋聖のタイトルを獲得しました。終局後の会見で彼はこう述べています。

対局は、指し手だけでなく、対局者の考えや食事も含めて一つのストーリーがある。

棋聖 藤井聡太

日常の場面と試合や試験の本番場面、どちらに臨むのも同じ自分です。一つのストーリーとしてつながっています。自分を見つめ、改めて日常を大切にしてみてください。



イラスト <https://img096.exblog.jp>

夏休み中進路室は8時30分~16時30分に開室しています。

また、閉室予定は次の通りです。

進路室閉室予定日

8月13日(木)・14日(金)・24日(月)